

様式 2

環境保全行動 報告提出書  
自動車使用管理実施

2023年 7月 18日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所  氏名 (代表者名)	〒 001-0032
	札幌市北区北32条西5丁目2番12号
	開発産業株式会社
	代表取締役 土田 重雄

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 第23条第3項の規定により、環境保全行動自動車使用管理実施

報告書を提出します。

報告期間	2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日					
事業の規模	従業員数	14	人	原油換算した	38.1	kl
	使用床面積	75.3	m <sup>2</sup>	燃料・熱・電気の合計量		
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	12	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO <sub>2</sub>	100	t-CO <sub>2</sub>	メタン	t-CO <sub>2</sub>
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			t-CO <sub>2</sub>	PFC	t-CO <sub>2</sub>	SF <sub>6</sub>
					HFC	t-CO <sub>2</sub>
					NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>
計画書提出根拠	条例第13条(環境保全行動計画)				<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第3項	
	条例第23条(自動車使用管理計画)				<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項	
計画期間	2020年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日					
環境保全行動自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり					
備考						

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 のある欄には、該当する内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書  
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2020年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

【報告期間】

2022年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2020年度結果			2021年度結果			2022年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動での二酸化炭素排出量削減	7.3 t	2 %	7.15 t	2 %	○	7.05 t	3 %	○	7.03 t	4 %	○
自動車の二酸化炭素排出量削減	96 t	3 %	93 t	3 %	○	93 t	3 %	○	93.2 t	3 %	△
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
事業活動での二酸化炭素排出量削減	○	社員の意識による省エネの徹底により削減出来た。
自動車の二酸化炭素排出量削減	△	遠距離の現場が多かったため削減出来無かった。